

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 29 年 9 月 11 日 NO.14 (143)

9月11日(月)の全校朝会より

11日の全校朝会で、高学年の子供たちから2つのお話がありましたのでご紹介します。

1つ目は、代表委員会。子供たちは自分たちの国立七小をよい学校をするために、学校内で今困っていることを話し合いました。そこでは、挨拶や外遊びの励行などの意見もありましたが、圧倒的に多かったことが、「廊下歩行の歩き方が守られていない。」「走ったり、左側通行したり、危ない思いをした。」などでした。そこで、今回、代表委員会の子供たちは、その解決策として、『廊下を静かに歩こう大作戦』というものを考えました。その作戦とは、廊下のセンターライン（副校長先生が考え教職員全員で貼ったテープ）の上に、折り鶴を置いて、廊下を静かに右側を歩くことを意識づけるというものです。全校児童が折り鶴を踏まないように落ちて安全に歩行していこうという、子供たちからの自発的な意見や行動はとても立派であり、さすがは国立七小の子供たちであると感心しました。実際に始めてみれば、様々な課題も出てくるかと思いますが、まずは実践第一でやってみようということになりました。子供たちの願いや思いを大切に、少しずつ成果が表れることを願っています。

2つ目は、体育委員会です。これは、体育委員会の子供たちが、運動の得手不得手など関係なく、もっと運動を好きになってほしい、体を動かすと気持ちよく楽しいことであることをわかってもらいたいと考えたことです。日時は9月20・21・22日の昼休みを予定しています。場所は体育館で、誰でも参加自由です。みんなでどんな楽しい運動ができるか今からとても楽しみです。

このように、自分たちでより良い学校にするために、子供たちが自主的に行う活動を、学校としても精一杯応援していきたいと思えます。今後の子供たちの活躍が楽しみです。



9月8日(金)の国立七小見守り会意見交換会より

夕方6時からの意見交換会には、地域の見守り会や保護者の方々が30数名も参加していただき誠にありがとうございました。この会も今回で8回目となり、すっかり定着し意見・要望もたくさん出て大いに盛り上がりました。

現在、子供たちの安全を第一に考え、地域と保護者が協力し、毎日40数名の方々が見守り活動をしてきています。国立第七小学校は、このように地域の皆様に温かく支援してもらっていることを大変嬉しく思っています。課題としては様々あり、4年も続いている活動を今後どのように継続発展させていくか、また、見守ってもらうことが当然であるかのように思って、見守り会の方々への感謝の思いや丁寧で元気な子供たちの挨拶の励行などに課題があると思います。日々感謝して、いつも笑顔で挨拶が飛び交い、安心と安全の学校・地域づくりを今後も続けていきたいと願っています。今後とも、どうかよろしくお願ひします。



今後の見守り活動の充実に向けて、一つの試みとして・・・

見守り会の方々と一緒に、保護者の皆さまも無理のない程度で結構ですので、朝の通学の様子を見守ってもらえたら嬉しく思います。具体的には、今後6回実施される土曜授業の朝などはいかがでしょうか。お休みの朝なのに申し訳ありませんが、一度だけでもよいので、子供と一緒に登校するなどして、朝の見守り活動をご覧になっていただければ幸いです。